

[様式第3号]

資料提供年月日	平成29年 2月 3日	
問い合わせ先	課名	総務法制企画課
	電話	直通 803-1081 内線 4450,4455
担当者	職名・氏名	課長 岩田
	職名・氏名	担当課長 浅沼

広 報 連 絡

＜市長定例記者会見資料＞

1 件 名 岡山市教育大綱の策定について

2 内 容

(1) 大綱策定の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3第1項に基づき、教育等の振興に関する施策について、その目標や根本となる方針を定めるもの。

(2) 大綱が対象とする期間

平成29年度から平成32年度までの4年間

(3) 大綱の構成

- ・はじめに
- ・施策の目標
 - 目標1 学力の向上
 - 目標2 問題行動等の防止及び解決
- ・施策の方針
- ・施策の推進のために必要な事項
 - 1 施策の実施に当たっての環境整備
 - 2 施策の実現に向けて

岡山市教育大綱

平成29年2月

はじめに

教育は、人づくりを通じてより良い明日の世界を目指す実践であり、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献することのできる人を育成することが大切です。

岡山市では、教育基本法が掲げる「人格の完成」を目指し、一人一人の子どもが、知・徳・体の調和のとれた、自立に向かって成長する子どもに育つことを願って、市民協働で取り組んでいるところですが、全国的な調査結果から、子どもの学力、問題行動等には大きな課題があります。

学力の面では、平成28年度全国学力・学習状況調査の結果を都道府県の順位に当てはめると、45位以下となる教科が見られます。

問題行動等の面でも、中学校における暴力行為の発生件数は未だ全国平均の約2倍であり、小学校における不登校の出現率も全国平均を上回る状態が続いています。

これらの結果は、教育委員会や学校はもとより、岡山市としてのこれまでの取組が十分でなかったことを示しており、子どもたちに対する責任を果たしていないと言わざるをえません。

この現状を、打破したい。

岡山市の子どもたちが、世界で活躍する素地を育み、岡山市の学校に通ったことを誇りに思える、そんな学校教育、学校風土に変革していかなければいけない。

教育委員会が強いリーダーシップを発揮し、全ての学校、教職員が目標達成に向けて、一丸となって取り組んでいかななくてはならない。

こうした思いを私と教育長、教育委員が共有し、これからの岡山市の教育に必要なことは何か、何をすべきか、総合教育会議の場で議論を重ね、練り上げたのが、この「岡山市教育大綱」です。

本大綱に沿って、岡山市を挙げて学校教育の変革にチャレンジしてまいります。

また、本大綱では、喫緊の課題である学力の向上と問題行動等の防止及び解決を目標に掲げましたが、支援や配慮を必要とする子どもへの教育と福祉とが連携した支援の充実をはじめ、幅広い教育課題についても今後、総合教育会議で協議しながら、子どもたちのよりよい成長に資する取組に力を尽くしてまいります。

岡山市長 **大森 雅夫**

施策の目標

郷土の先人・犬養木堂は、「教育は国家百年の大計」という表現のもととなった、中国春秋時代の管子のことば「終身の計は人を樹うるに如くは莫し」を引いて、『樹人』という書を遺されました。

まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくりです。

百年先を見据え、教育を通じて、未来の郷土、ひいては世界の発展の基礎を築いていくことが岡山市の使命であり、先人の教えを胸に刻み、社会全体「オール岡山市」で人づくりに力を注ぎます。

【岡山市がめざす教育】

『樹人』明日の世界に雄飛する人を樹うる



「『樹人』明日の世界に雄飛する人を樹うる」の実現に向けて、まずは岡山市の教育の現状と課題を真摯に受け止め、平成29年度から平成32年度までの4年間における施策の目標を「学力の向上」と「問題行動等の防止及び解決」とし、教育委員会と市がしっかりとスクラムを組みながら、強い決意を持って、この2つの目標の達成を目指します。

目標1 学力の向上

競い合う、高め合う

目標2 問題行動等の防止及び解決

認め合う、共に生きる

また、今後における総合教育会議での協議を踏まえ、新たに施策の目標や方針を設定するなど、必要に応じて大綱の見直しを行います。

施策の方針

目標 1 学力の向上

競い合う、高め合う

現状と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果から

○教科に関する調査については、小学校では改善してきていますが、中学校では全国平均を下回る状態が続いています。

B問題(主として「活用」に関する問題)の偏差値の推移

	小6・国語	小6・算数	中3・国語	中3・数学
H25	49	50	50	50
H26	50	50	48	48
H27	50	50	48	48
H28	50(23)	50(11)	48(47)	48(45)

※H28の()内の数字は、仮に正答率を都道府県の順位に当てはめた場合の位置

○教科に関する調査における無解答の割合が、小学校、中学校ともに、全国平均を上回っています。

B問題の無解答率(H28)

教科	岡山市	全国
小6・国語	5.0%	4.6%
小6・算数	8.2%	7.4%
中3・国語	7.4%	4.4%
中3・数学	19.0%	14.7%

教育委員会や学校は、子どもたちの日頃の学習の状況や活動の様子を重視しており、全国学力・学習状況調査の結果の活用が不十分であった。



教員や子どもたちの全国学力・学習状況調査に取り組む意識を高め、その結果を効果的に活用し、学力向上に向けた取組にいかしていく必要がある。

○組織的な授業研究等の取組の実施率や校長が校内の授業を週2回以上見て回っている割合が、中学校で全国平均を下回っています。

授業研究等の状況(H28・中学校)

項目	岡山市	全国
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている。	63.2%	84.2%
校長が校内の授業を週2回以上見て回っている。	65.8%	82.6%

教員が互いに授業を見合う教え合うという機会が不足していた。特に、中学校では、生徒指導や部活動の指導に追われ、組織的な研究を進めにくかった。



授業改善に向けた取組が効果的に行われるような仕組みづくり、場づくりを行っていく必要がある。

変革と挑戦 ~Change & Challenge~

取組の方向性

○教育委員会の強いリーダーシップの下、校長を中心として、組織的かつ実践的な授業研究を行い、授業改善を進めます。

教育委員会

- ・教育長自らが先頭に立って教育委員会を挙げて、全学校を学期に1回以上訪問
- ・各学校の授業改善の状況を確認、指導及び助言を実施

学校

- ・授業改善をテーマにした校内研修の回数・内容等を示した研修計画を作成
- ・計画に沿って公開授業や研究協議等を実施
- ・校長は、校内の教員の授業を週2回以上参観、授業改善に向けた指導及び助言を実施

○学力調査等の結果を効果的に活用し、子ども一人一人の学力向上を図ります。

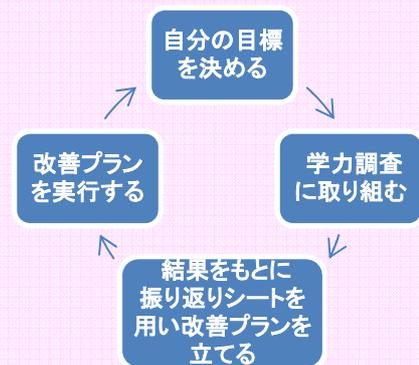
教育委員会

- ・岡山市独自の学力調査（学力アセス）を実施
- ・学力アセスと全国学力・学習状況調査を関連付けた「子ども一人一人の学力向上PDCAサイクル」を確立

学校

- ・「子ども一人一人の学力向上PDCAサイクル」が機能するよう、振り返りシート等を用い指導
- ・全国学力・学習状況調査の質問紙調査において課題が見られた項目について、目標値を定めて、その改善に向けた取組を実施

子ども一人一人の 学力向上PDCAサイクル



目標値(H32)

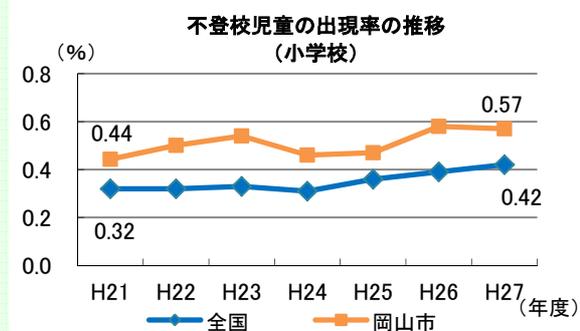
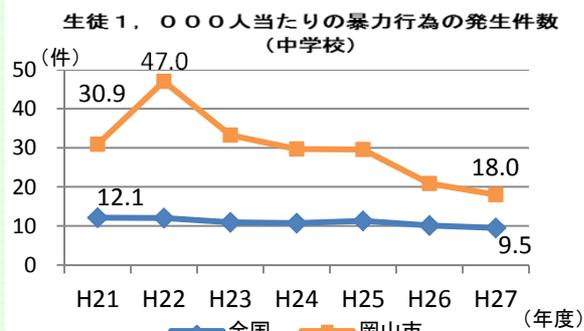
○全国学力・学習状況調査の偏差値が、小学校51、中学校50となることを目指します。

目標 2 問題行動等の防止及び解決

認め合う、共に生きる

現状と課題

「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」から



- 暴力行為の発生件数は、中学校で減少傾向にあります。依然、全国平均を上回る状態が続いています。
- 不登校の出現率は小学校で全国平均を上回る状態が続いています。
- いじめの解消率は小学校、中学校ともに95%を上回る状態が続いています。

改善が進んでいるもの

- 学級への適応感などを測る質問紙調査の活用により、安心して学べる学級集団づくりが進んだ。
- 警察との協働による非行防止教室の実施等により、規範意識が向上した。
- 専門職員を学校に配置し、問題行動等に対する支援体制づくりが進んだ。
 - ・スクールカウンセラー
38校(H22)→74校(H28)
 - ・不登校児童生徒支援員
68校(H22)→86校(H28)
- 内容に特化した相談窓口の設置により、学校の対応力が向上した。
 - ・特別支援教育相談窓口(H22～)
 - ・学校問題相談窓口(H24～)
 - ・いじめ専用ダイヤル(H26～)

中学校の暴力行為の発生件数が5年で半減するなどの成果が上がっている。

問題行動等の未然防止に向けて、効果のあった取組を引き続き推進していく必要がある。

課題が残っているもの

- 問題行動等への対応や未然防止に関して、次の点において学校間で取組に差があった。
 - ・原因や背景の分析
 - ・児童生徒の実態把握
 - ・校内体制の構築
 - ・保護者との意思疎通
 - ・専門家の活用
 - ・地域や関係機関との協働

暴力行為が繰り返し発生する学校や、新たな不登校児童が複数現れる学校が見られる。

- ・暴力行為が年間10件以上発生した中学校 9校/38校(H27)
- ・新たな不登校児童が2人以上現れた小学校 39校/91校(H27)

市全体で課題を共有し、全ての学校で未然防止・早期解決に取り組む必要がある。

変革と挑戦 ~Change & Challenge~

取組の方向性

○全ての学校で、問題行動等の未然防止・早期解決に向けたさらなる対応力の向上に取り組めます。

教育委員会

- ・教育長自らが先頭に立って教育委員会を挙げて、全学校を学期に1回以上訪問し、問題行動等の実態や対応状況を把握
- ・各学校の実態把握の結果に応じて、実際の事例について検討するケース会議での指導及び助言や、研修会への講師の派遣を実施

学校

- ・校長は、学校が定めた問題行動等の防止に関する基本方針を毎年見直すとともに、各年度の重点目標を策定し、年度初めに子ども、保護者、教職員に提示
 - ・年3回以上、研修会またはケース会議を開催
- 【研修会の内容例】
- 「質問紙調査を活用した問題行動等の未然防止」
 - 「暴力的な児童生徒の特性の理解と効果的な支援」
 - 「不登校支援における関係機関との効果的な協働」

○全ての学校で、道徳教育や学級活動の充実、保護者や地域の方との協働を進め、子どもたちの居場所づくりや規範意識の向上に努めます。

教育委員会

- ・目的達成に向けて効果があった学校の取組とその成果を子どもたちや市民に対して周知し、全ての学校・地域における活動の活性化を促進
- 【取組例】
- 「スマートフォンやゲーム機の適切な利用による、家庭での学習時間の確保」
 - 「あいさつ運動や目安箱の設置等による、いじめのない学校づくり」
 - 「生徒会と育成協議会の協働による、ゴミや落書きのない街づくり」

学校

- ・善悪の判断や思いやりの気持ちを学ぶ道徳の授業や、警察と協働した非行防止教室等を全ての子どもを対象に実施
- ・全ての学級で、自分たちが守るべきルールについて話し合う活動を実施
- ・全ての学級で、学級の一員であるという意識を高める活動を実施
- ・PTAや青少年育成協議会等と協働して、年1回以上、保護者や地域の方を対象にした問題行動等の理解や未然防止に関する研修会、または清掃活動など、子どもと大人と一緒に活動できる行事等を開催

目標値(H32)

- 中学校の生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数が、平成27年度の全国平均(9.5件)以下となることを目指します。
- 小学校の不登校の出現率が、平成27年度の全国平均(0.42)以下となることを目指します。

施策の推進のために必要な事項

1 施策の実施に当たっての環境整備

学力の向上、問題行動等の防止及び解決に向けた施策を確実に実施していくための環境整備を行います。

教職員がいきいきと子どもの指導に当たるための教職員の働き方についての意識改革

- ・校長は、部活動の週1日以上以上の休養日や教職員の定時退校日を設定することなどにより、教職員が教材研究や研修等を行う時間を確保するとともに、教職員のワークライフバランスの実現に取り組みます。
- ・教育委員会は、各学校の取組の状況を把握し、その徹底を図ります。

実践的な研修の実施等による学校のマネジメント能力を身に付けた教員の育成

- ・教育委員会は、中堅教員を対象とした「総合的ミドルリーダー研修」を新規に開講します。

教員の新たな再任用制度の導入や学生ボランティアの活用による学校の教育力の向上

- ・退職した教員が、再任用教員として、それまでの経験をいかして習熟度別サポーター、学校業務アシスト職員等の職務を担うことで、様々な教育課題への対応を行います。
- ・教育委員会は、学生ボランティアのグループ化を図り、授業や放課後の学習支援を組織的に行います。

社会全体で子どもを育む意識の醸成

- ・教育委員会は、岡山市地域協働学校（コミュニティ・スクール）の指定を進め、家庭・学校・地域社会・事業者が協働し、社会全体で子どもを育む取組の充実を図ります。

2 施策の実現に向けて

教育委員会は、教育長を先頭に強いリーダーシップを発揮し、本大綱に掲げる施策に取り組みます。

市長は、教育委員会及び学校の取組状況について毎年度報告を求め、総合教育会議において検証・協議します。

平成28年度全国学力・学習状況調査における教科に関する調査の結果 ＜岡山市の偏差値＞

A問題・・・主として「知識」に関する問題
B問題・・・主として「活用」に関する問題

教科	小6	中3
国語A	49(34)	48(46)
国語B	50(23)	48(47)
算数A・数学A	50(33)	49(41)
算数B・数学B	50(11)	48(45)

()内の数字は、仮に正答率の都道府県の順位に当てはめた場合の位置

都道府県別の平均正答数・正答率（公立）

- ・本資料は、文部科学省の公表資料をもとに、最下段に岡山市の数値を記入して作成したものである。
- ・表中の下線は、全国の平均正答率と同程度の都道府県を表す。

	小学校								中学校							
	国語A (15問)		国語B (10問)		算数A (16問)		算数B (13問)		国語A (33問)		国語B (9問)		数学A (36問)		数学B (15問)	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率								
全国（公立）	10.9	<u>73</u>	5.8	<u>58</u>	12.4	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	25.0	<u>76</u>	6.0	<u>67</u>	22.4	<u>62</u>	6.6	<u>44</u>
北海道	10.7	71	5.6	56	12.0	75	5.8	45	24.8	75	5.8	65	22.2	<u>62</u>	6.5	43
青森県	11.6	77	6.0	60	12.9	80	6.2	48	25.2	<u>76</u>	5.9	66	23.0	<u>64</u>	6.7	45
岩手県	11.0	<u>73</u>	6.0	60	12.5	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	25.1	<u>76</u>	5.9	66	20.8	58	6.1	41
宮城県	10.8	72	5.6	56	12.2	77	5.9	46	25.4	77	6.1	68	21.8	60	6.6	<u>44</u>
秋田県	11.6	77	6.4	64	13.1	82	6.7	52	26.1	79	6.5	72	24.0	67	7.3	48
山形県	10.9	72	5.8	<u>58</u>	12.2	76	6.0	46	25.4	77	6.1	<u>67</u>	21.9	61	6.5	43
福島県	11.0	<u>73</u>	5.7	57	12.3	77	6.0	46	24.9	<u>76</u>	5.9	65	21.2	59	6.2	41
茨城県	11.0	74	5.9	59	12.5	<u>78</u>	6.2	48	25.4	77	6.2	69	22.0	61	6.7	45
栃木県	10.6	71	5.6	56	12.0	75	5.9	45	25.0	<u>76</u>	6.0	<u>67</u>	22.0	61	6.5	43
群馬県	10.7	72	5.6	57	12.5	<u>78</u>	6.0	46	25.5	77	6.2	69	22.7	63	6.8	46
埼玉県	10.7	72	5.7	57	12.1	76	6.0	46	24.7	75	5.9	66	21.7	60	6.5	43
千葉県	10.9	<u>73</u>	5.8	<u>58</u>	12.2	77	6.1	<u>47</u>	25.1	<u>76</u>	6.0	<u>67</u>	21.7	60	6.4	43
東京都	11.1	74	6.0	60	12.7	79	6.5	50	25.4	77	6.2	69	22.8	64	6.8	46
神奈川県	10.6	70	5.8	<u>58</u>	12.2	77	6.1	<u>47</u>	24.9	75	6.0	<u>67</u>	22.3	<u>62</u>	6.6	<u>44</u>
新潟県	11.4	76	6.0	60	12.7	80	6.2	48	25.2	77	6.0	<u>67</u>	22.4	<u>62</u>	6.6	<u>44</u>
富山県	11.3	75	6.1	61	12.9	81	6.7	51	25.7	78	6.3	71	23.5	65	7.4	49
石川県	11.8	79	6.3	63	13.2	82	7.0	54	25.8	78	6.4	71	23.6	66	7.3	49
福井県	11.5	77	6.3	63	13.2	82	6.7	52	25.7	78	6.3	70	25.0	69	7.6	51
山梨県	10.7	71	5.8	<u>58</u>	12.4	77	6.1	<u>47</u>	24.8	75	6.1	68	22.0	61	6.6	<u>44</u>
長野県	11.1	74	5.9	59	12.4	77	6.1	<u>47</u>	25.2	<u>76</u>	6.0	66	22.1	61	6.6	<u>44</u>
岐阜県	11.0	<u>73</u>	5.9	59	12.4	77	6.1	<u>47</u>	25.0	<u>76</u>	6.2	69	22.8	64	6.9	46
静岡県	11.5	77	5.9	59	12.6	79	6.2	<u>47</u>	25.4	77	6.3	70	23.2	64	7.0	47
愛知県	10.7	71	5.6	56	12.2	76	6.0	46	24.9	<u>76</u>	6.0	66	23.4	65	7.0	47
三重県	10.8	72	5.8	<u>58</u>	12.5	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	24.5	74	5.8	64	22.4	<u>62</u>	6.5	43
滋賀県	10.9	<u>73</u>	5.6	57	12.1	76	6.0	46	24.4	74	5.7	63	22.1	61	6.3	42
京都府	11.1	74	5.9	59	12.8	80	6.3	49	25.0	<u>76</u>	6.0	<u>67</u>	22.8	63	6.8	45
大阪府	10.7	71	5.5	55	12.3	77	6.0	46	24.3	74	5.7	63	22.2	<u>62</u>	6.5	43
兵庫県	10.9	<u>73</u>	5.8	<u>58</u>	12.4	<u>78</u>	6.2	47	25.1	<u>76</u>	5.9	66	23.7	66	6.8	46
奈良県	10.8	72	5.7	57	12.3	77	6.0	46	25.0	<u>76</u>	5.9	66	22.9	64	6.6	<u>44</u>
和歌山県	10.5	70	5.6	56	12.4	77	5.9	46	24.2	74	5.7	63	22.4	<u>62</u>	6.4	43
鳥取県	11.3	75	5.8	<u>58</u>	12.3	77	6.1	<u>47</u>	25.3	77	6.0	<u>67</u>	22.8	63	6.7	<u>44</u>
島根県	11.2	75	5.7	57	12.3	77	6.0	46	25.2	<u>76</u>	6.1	68	21.4	60	6.3	42
岡山県	10.9	<u>73</u>	5.8	<u>58</u>	12.4	77	6.1	<u>47</u>	24.6	75	5.7	64	21.7	60	6.2	41
広島県	11.8	78	6.1	61	12.7	80	6.4	50	25.3	77	6.1	68	22.4	<u>62</u>	6.7	45
山口県	11.2	75	5.9	59	12.5	<u>78</u>	6.3	48	25.4	77	6.1	68	22.9	64	6.8	45
徳島県	11.4	76	5.7	57	12.3	77	5.9	45	25.0	<u>76</u>	5.8	64	23.3	65	6.6	<u>44</u>
香川県	11.2	75	5.9	60	12.5	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	25.5	77	6.1	68	23.0	64	6.7	45
愛媛県	11.0	74	6.1	61	12.9	81	6.4	49	25.2	77	6.2	69	23.0	64	7.0	47
高知県	11.6	77	5.8	<u>58</u>	12.9	80	6.2	<u>47</u>	24.9	75	5.9	65	21.1	59	6.0	40
福岡県	10.8	72	5.8	<u>58</u>	12.4	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	24.7	75	5.9	66	21.7	60	6.4	42
佐賀県	10.9	<u>73</u>	5.7	57	12.4	<u>78</u>	6.0	46	24.6	75	5.8	65	21.4	59	6.2	41
長崎県	10.9	72	5.7	57	12.5	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	24.9	75	6.0	<u>67</u>	22.1	<u>62</u>	6.4	43
熊本県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大分県	10.9	<u>73</u>	5.8	<u>58</u>	12.5	<u>78</u>	6.1	<u>47</u>	24.7	75	6.0	66	21.9	61	6.3	42
宮崎県	11.2	75	5.6	56	12.3	77	5.9	46	24.6	75	5.8	65	22.2	<u>62</u>	6.4	43
鹿児島県	10.8	72	5.7	57	12.6	79	5.9	45	24.4	74	5.8	64	21.5	60	6.2	41
沖縄県	11.0	<u>73</u>	5.8	<u>58</u>	12.9	81	6.2	48	23.5	71	5.7	63	19.5	54	5.6	37
岡山市	10.8	72	5.8	58	12.3	77	6.2	48	24.2	73	5.5	62	21.5	60	6.1	40

中学校 国語A

四 次は、【漢和辞典】の「美」という字の説明の一部です。あとのアとイに使われている「美」の意味として最も適切なものを、【漢和辞典】の「意味」の①から④までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

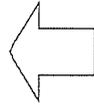
【漢和辞典】

羊 ³	【美】	9画	常用	(3年)	訓	音
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美
、	ナ	ニ	ヤ	羊	羊	美

五 次は、世界的に有名な「サグラダ・ファミリア」を紹介する文章【A】と、それを書き直した文章【B】です。書き直した意図として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

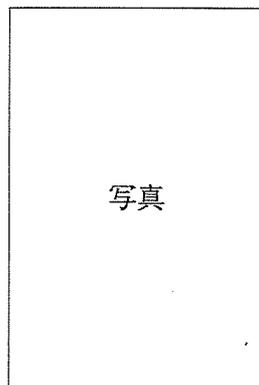
【A】

「サグラダ・ファミリア」は、一八八二年からスペインで建設されている建築物です。私は、とても日本人が建設に大きく貢献していることを知って驚きました。



【B】

「サグラダ・ファミリア」は、一八八二年からスペインで建設されている建築物です。私は、日本人が建設に大きく貢献していることを知つてとても驚きました。



参考 〈建設中のサグラダ・ファミリア〉

- 1 主語と述語を近付けて、何がどうしたかを明確にしようとした。
- 2 並立の関係にある文節を近付けて、対等の関係にあることを明確にしようとした。
- 3 指示する言葉と指示される言葉を近付けて、何を指しているかを明確にしようとした。
- 4 修飾・被修飾の関係にある文節を近付けて、何を詳しく説明しているかを明確にしようとした。

暮らしの中の 伝統文化展



2016年 5月21日(土) - 6月19日(日)

開館時間 : 午前9時30分 - 午後5時
休館日 : 月曜日
入館料 : 一般300円 大学生・高校生200円
中学生以下無料

第2期:「和紙の世界」6月25日(土) - 7月24日(日)

第3期:「織物の世界」7月30日(土) - 8月28日(日)

草木市立博物館

〒900-9859 草木市南町7

電話 000-123-xxxx

<http://www.hakubutsukan.xx.jp>

【博物館の暮らし(表)】

1 次の【博物館の暮らし(表)】と【博物館の暮らし(裏)】を読んで、あとの問いに答えなさい。

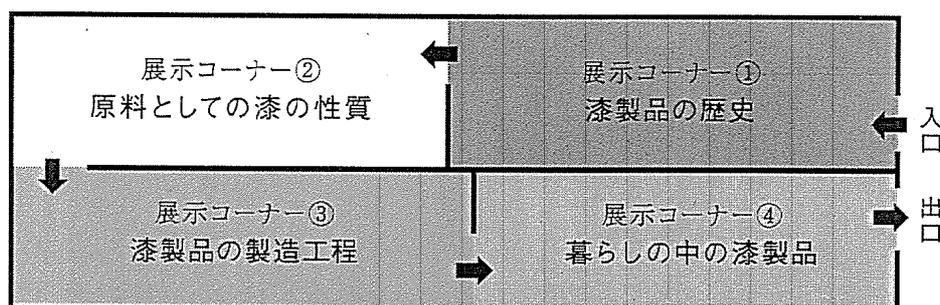
「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

うるしの世界

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美だけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

展示内容（1階展示室）



関連イベント

～漆製品を使ってみよう～

漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の手入れの仕方も体験できます。漆の器の美しさや手触りのよさなどを感じてみませんか。

日時：開催期間中の土曜日
午後3時～午後4時

場所：1階特別室

定員：20名（無料・当日受付）

～職人の技を見てみよう～

この道30年の職人による漆塗りの実演を見ることが出来ます。交流する時間もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみませんか。

日時：開催期間中の日曜日
午前10時～午前11時

場所：1階ホール

定員：50名（無料・当日受付）

一 【博物館のちらし(表)】と【博物館のちらし(裏)】から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 漆、和紙、織物などの日本の伝統文化は特別なものではなく、現在の生活とつながりがあると知ってもらおうこと。
- 2 日本の伝統文化の代表である漆、和紙、織物を同時に展示し、それぞれの特徴を比較してもらおうこと。
- 3 国内の各地で漆、和紙、織物の順で生まれ、発展してきた日本の伝統文化の歴史的な背景を理解してもらおうこと。
- 4 世界の優れた職人の手によって作り出された漆、和紙、織物などの高級品の数々を鑑賞してもらおうこと。

二 【博物館のちらし(裏)】にある関連イベントの「〓職人の技を見よう〓」に参加することが出来る日付として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二〇一六年五月二十一日
- 2 二〇一六年五月二十二日
- 3 二〇一六年五月二十三日
- 4 二〇一六年五月二十四日

1 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) $\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算しなさい。

(2) 下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選びなさい。

ア -5

イ 0

ウ 1

エ 2.5

オ 4

(3) $-3 + (-7)$ を計算しなさい。

(4) ダムの水位を，次の図のように 0 m を基準にして，それより水位が高いときは正の数で，水位が低いときは負の数で表します。

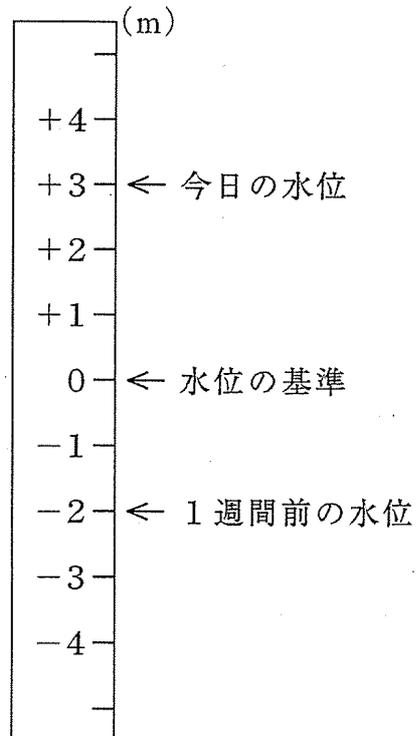
今日の水位は +3 m で，1週間前の水位は -2 m でした。今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式として正しいものを，下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

ア $(+3) + (-2)$

イ $(+3) - (-2)$

ウ $(-2) + (+3)$

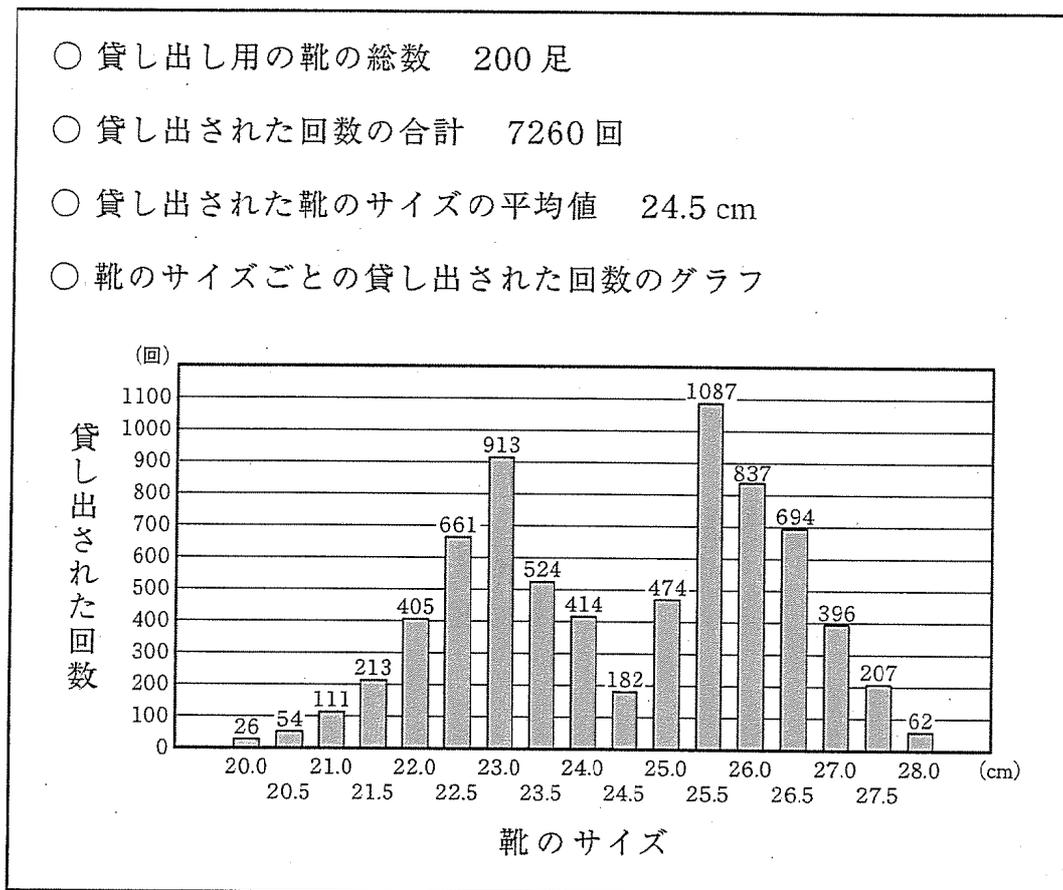
エ $(-2) - (+3)$



- 5 あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいもの買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月間に靴が貸し出された回数について調べました。

調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば、23.5 cm の靴は 524 回貸し出されたことがわかります。

調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

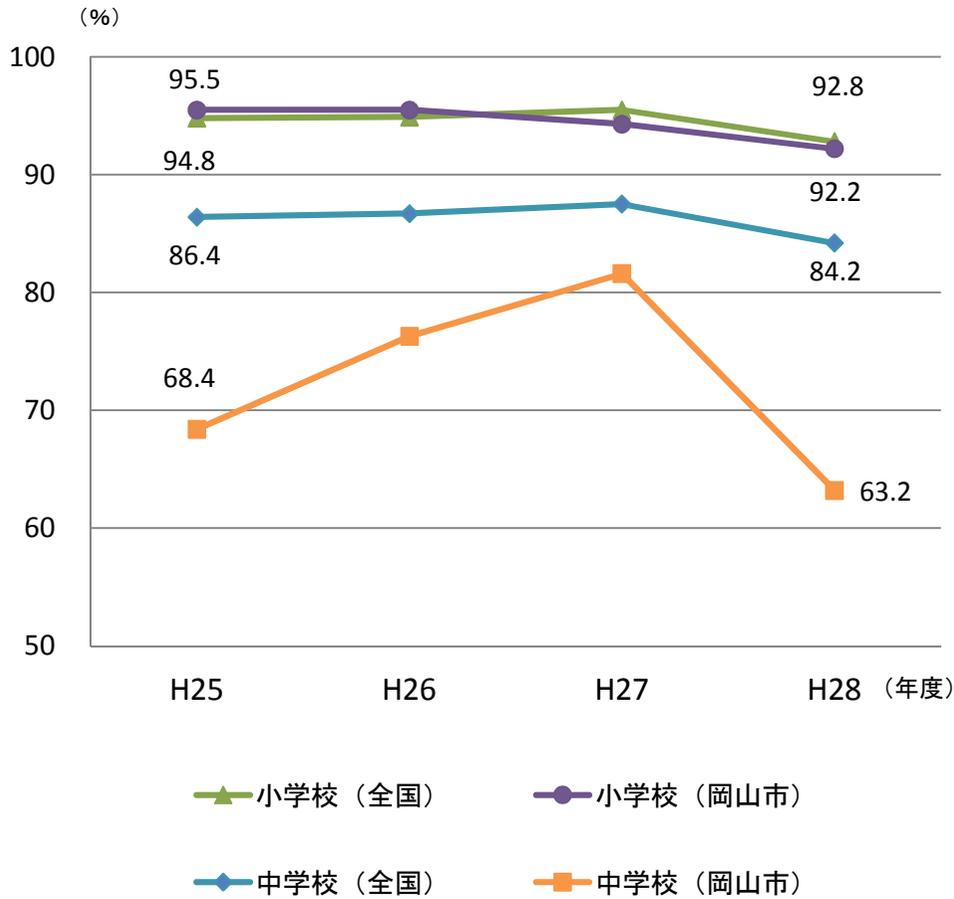
(1) 「貸し出された靴のサイズの平均値である 24.5 cm の靴を最も多く買う」という考えは適切ではありません。その理由を、調べたことのグラフの特徴をもとに説明しなさい。

(2) 25.5 cm の靴を何足買うかを考えるために、25.5 cm の靴が貸し出された回数の相対度数を求めます。その相対度数を求める式を書きなさい。ただし、実際に相対度数を求める必要はありません。

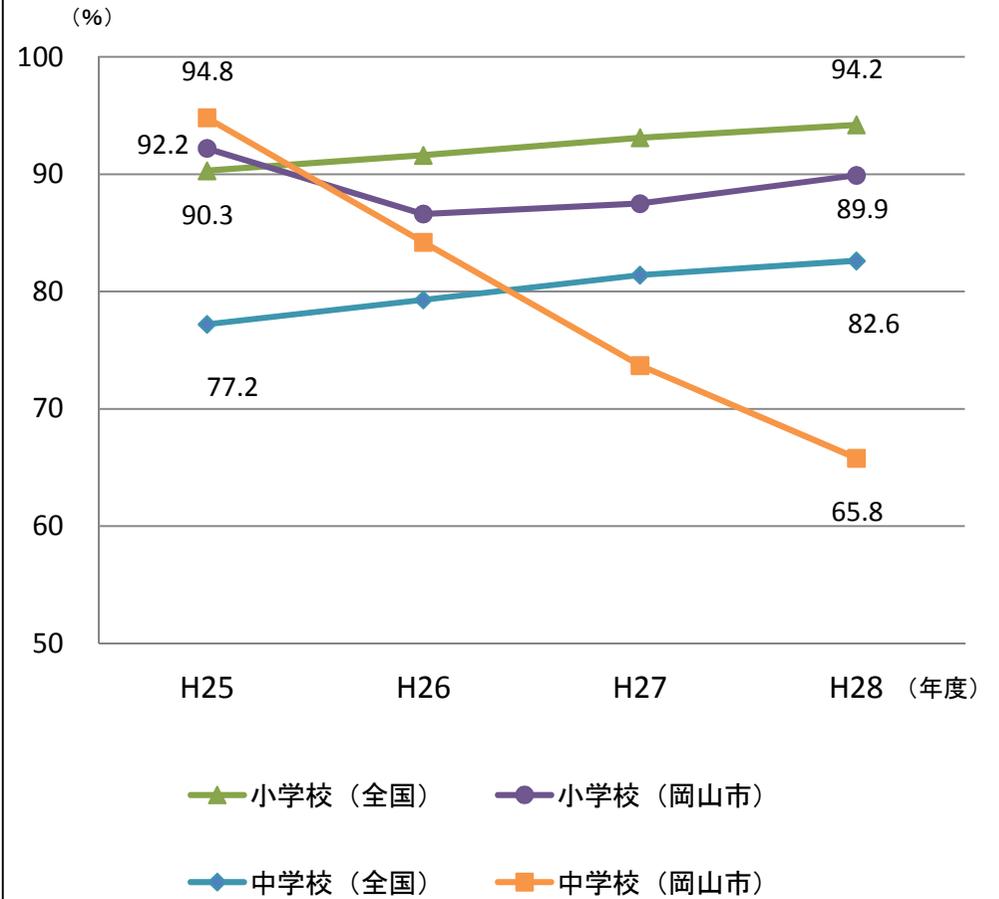


授業研究等の状況

「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」



「校長が校内の授業を週2回以上見て回っている」



平成28年度全国学力・学習状況調査

児童生徒質問紙調査結果

1 岡山市の特長及び課題と思われる項目(「自尊感情」「読書」「家庭学習」に関わる項目)

(1) 全国と岡山市の結果比較

		小学校			中学校		
		岡山市	全国との差(H28)	全国との差(H27)	岡山市	全国との差(H28)	全国との差(H27)
自尊感情	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	95.4	1.0	0.2	94.2	△ 0.1	△ 0.1
	自分には、よいところがあると思う	79.8	3.5	5.2	72.7	3.4	1.7
	将来の夢や目標を持っている	84.5	△ 0.8	△ 0.6	68.3	△ 2.8	△ 3.6
読書	学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする	37.0	0.5	0.3	29.3	1.1	1.8
	学校の図書館(授業以外)や地域の図書館に年に1回以上行く	64.8	△ 3.9	△ 4.3	46.9	5.2	3.9
	読書は好きである	78.0	3.4	4.2	71.5	1.6	0.6
家庭学習	家で自分で計画を立てて勉強をしている	63.8	1.6	0.7	47.1	△ 1.3	△ 2.0
	家で学校の宿題をしている	97.4	0.4	0.7	87.8	△ 2.3	△ 1.2
	家で学校の授業の予習をしている	43.0	△ 0.3	△ 0.9	29.4	△ 4.8	△ 1.9
	家で学校の授業の復習をしている	55.1	△ 0.1	0.6	40.5	△ 10.5	△ 12.0

(2) 岡山市の平成27年度と平成28年度の結果比較

		小学校			中学校		
		H28	H27	前年度との差	H28	H27	前年度との差
自尊感情	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	95.4	94.7	0.7	94.2	94.1	0.1
	自分には、よいところがあると思う	79.8	81.6	△ 1.8	72.7	69.8	2.9
	将来の夢や目標を持っている	84.5	85.9	△ 1.4	68.3	68.1	0.2
読書	学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする	37.0	38.0	△ 1.0	29.3	32.4	△ 3.1
	学校の図書館(授業以外)や地域の図書館に年に1回以上行く	64.8	64.8	0.0	46.9	46.6	0.3
	読書は好きである	78.0	77.0	1.0	71.5	68.5	3.0
家庭学習	家で自分で計画を立てて勉強をしている	63.8	63.5	0.3	47.1	46.8	0.3
	家で学校の宿題をしている	97.4	97.5	△ 0.1	87.8	88.1	△ 0.3
	家で学校の授業の予習をしている	43.0	42.5	0.5	29.4	33.4	△ 4.0
	家で学校の授業の復習をしている	55.1	55.1	0.0	40.5	40.0	0.5

2 「『岡山っ子』学力向上の重点」に関連した項目(「よりよい授業づくり」「補充学習」に関わる項目)

(1) 全国と岡山市の結果比較

		小学校			中学校		
		岡山市	全国との差(H28)	全国との差(H27)	岡山市	全国との差(H28)	全国との差(H27)
よりよい授業づくり	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていた	90.0	2.4	5.3	87.9	3.0	9.5
	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた	81.1	5.0	6.8	61.6	△ 1.5	△ 3.2
	授業では、学級の児童生徒の間に話し合う活動をよく行っていた	85.4	2.0	1.2	80.5	2.7	2.1
	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた	86.2	1.1	1.8	84.2	0.1	0.1
	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた	93.2	5.3	6.6	79.5	2.7	1.7
補充(家庭学習)の充実	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をする	65.0	2.5	1.7	58.6	△ 9.3	△ 6.5
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をしている	54.1	△ 2.9	△ 2.9	58.2	△ 9.6	△ 7.8

(2) 岡山市の平成27年度と平成28年度の結果比較

		小学校			中学校		
		H28	H27	前年度との差	H28	H27	前年度との差
よりよい授業づくり	授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていた	90.0	91.6	△ 1.6	87.9	83.2	4.7
	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた	81.1	82.1	△ 1.0	61.6	56.1	5.5
	授業では、学級の児童生徒の間に話し合う活動をよく行っていた	85.4	86.4	△ 1.0	80.5	80.3	0.2
	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた	86.2	88.5	△ 2.3	84.2	86.0	△ 1.8
	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた	93.2	93.7	△ 0.5	79.5	75.4	4.1
補充(家庭学習)の充実	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をする	65.0	63.8	1.2	58.6	62.8	△ 4.2
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をしている	54.1	53.9	0.2	58.2	61.0	△ 2.8

平成28年度全国学力・学習状況調査

学校質問紙調査結果

岡山市の特徴的な項目

領域	質問項目	小学校					中学校				
		H28		H27		【岡山市】 昨年度 との差 (H28-H27)	H28		H27		【岡山市】 昨年度 との差 (H28-H27)
		岡山市	全国との差	岡山市	全国との差		岡山市	全国との差	岡山市	全国との差	
指導方法等	授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた	100.0	1.2	100.0	1.9	0.0	100.0	2.2	97.4	1.7	2.6
	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた	98.8	3.9	97.7	3.8	1.1	94.7	1.7	94.7	3.8	0.0
	各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた	88.8	△ 4.0	88.6	△ 3.1	0.2	92.1	3.2	84.3	△ 2.4	7.8
	学習規律(話の聞き方・話し方、チャイム厳守)の維持を徹底した	92.1	△ 4.5	95.5	△ 0.7	△ 3.4	94.7	△ 3.2	97.4	0.0	△ 2.7
学力向上	学校図書館を活用した授業を行った	99.9	2.2	100.0	2.3	△ 0.1	100.0	11.2	97.3	10.3	2.7
	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った	55.0	△ 19.6	54.5	△ 17.9	0.5	97.4	0.3	100.0	3.6	△ 2.6
	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施した	28.0	△ 32.3	27.2	△ 30.9	0.8	81.6	0.1	86.8	6.1	△ 5.2
調査の活用	全国学力・学習状況調査の自校の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用した	97.8	0.8	96.6	0.8	1.2	94.7	△ 0.1	94.8	1.6	△ 0.1
	全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行った	98.9	8.7	92.0	4.6	6.9	89.5	5.7	89.5	9.0	0.0
家庭学習	児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした	92.2	0.3	92.1	2.3	0.1	79.0	△ 8.8	76.3	△ 9.4	2.7
	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った	97.8	0.5	98.9	2.4	△ 1.1	76.3	△ 11.2	92.1	8.2	△ 15.8
地域・学校間連携	近隣の中学校・小学校と教育目標を共有する取組を行った	84.2	29.7	H28年度変更項目			86.9	25.4	H28年度変更項目		
	近隣の中学校・小学校と授業研究を行うなど、合同して研修を行った	82.0	19.5	H28年度変更項目			92.1	19.6	H28年度変更項目		
	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	83.1	0.7	81.8	5.5	1.3	55.2	△ 9.9	42.1	△ 16.7	13.1
	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる	97.8	0.1	94.3	△ 2.8	3.5	92.1	△ 3.5	97.4	2.3	△ 5.3
研修等	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている	92.2	△ 0.6	94.3	△ 1.2	△ 2.1	63.2	△ 21.0	81.6	△ 5.9	△ 18.4
	校長が校内の授業を週2回以上見て回っている	89.9	△ 4.3	87.5	△ 5.6	2.4	65.8	△ 16.8	73.7	△ 7.7	△ 7.9

振り返りシート

調査の結果をもとに苦手な問題を見つけ、
授業の受け方や家庭学習を見直し、自分の進路決定につなげよう。

年 組 番 氏名

1. 調査結果から自分の弱点を探そう

Step1

個人票の問題ごとの結果を見ながら、
自分が正解していれば、「公表シート
Ⅱ」の全国の正答率に○印をつけよう。

【個人票】

問題番号	問題内容	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率
10	1000円の半を15元とすると、1000円の何割を求めよ	○	43.4	★					
11	長方形の面積を求めよ	—	38.8	★					
12	1000円の半を15元とすると、1000円の何割を求めよ	×	39.9						

【公表シートⅡ】

問題番号	問題内容	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率
10	1000円の半を15元とすると、1000円の何割を求めよ	○	43.4	★					
11	長方形の面積を求めよ	—	38.8	★					
12	1000円の半を15元とすると、1000円の何割を求めよ	×	39.9						

○だけつける
×やーはつけ
ない

Step2

できなかった問題を2つ選んで、問題と選んだ理由を書こう。
問題文が長い問題は、個人票の問題の内容を参考にしよう。

例) 【数学A】 比例 $y=2x$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める

理由 全国の正答率が高いのに、間違えていたから。

【 】

【 】



2. 学習方法を見直そう 当てはまるところを○で囲もう

- 平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾を含む）
(ア. 3時間以上 イ. 2時間～3時間 ウ. 1時間～2時間 エ. 1時間以下)
- 家で、学校の宿題をしていますか
(ア. している イ. どちらかといえば、している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない)
- 家で、その日学校の授業で習ったことを復習していますか
(ア. している イ. どちらかといえば、している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない)
- 家で、自分で計画を立てて苦手分野を克服する学習をしていますか
(ア. している イ. どちらかといえば、している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない)

3. 目標を立てよう

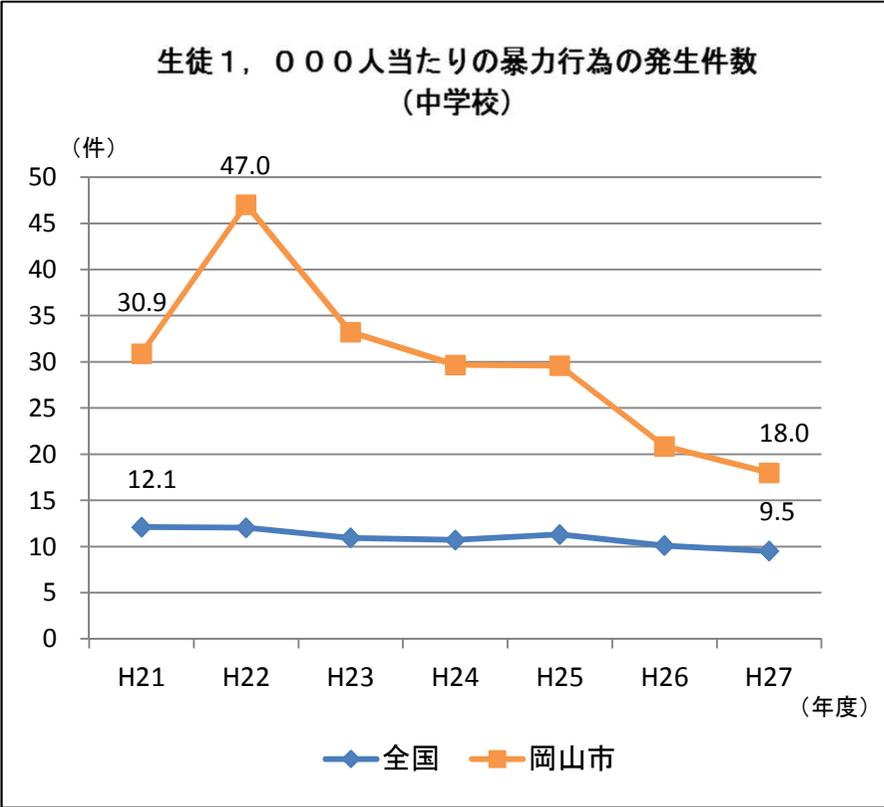
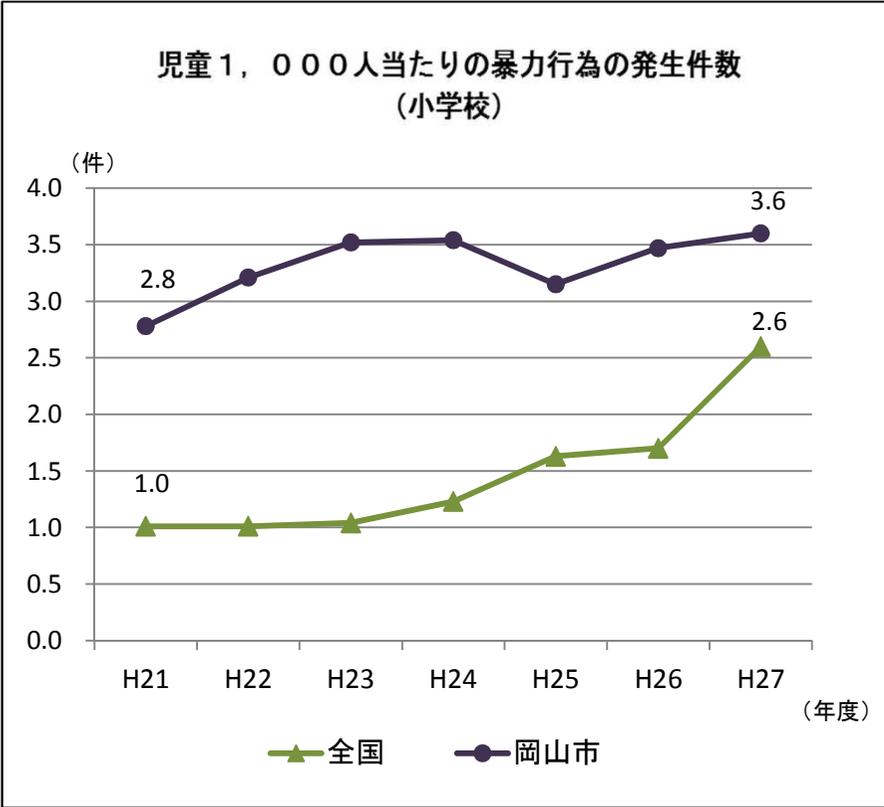
🎯 授業でがんばりたいことや家庭学習で工夫したいこと

🎯 進路に向けた自分の目標



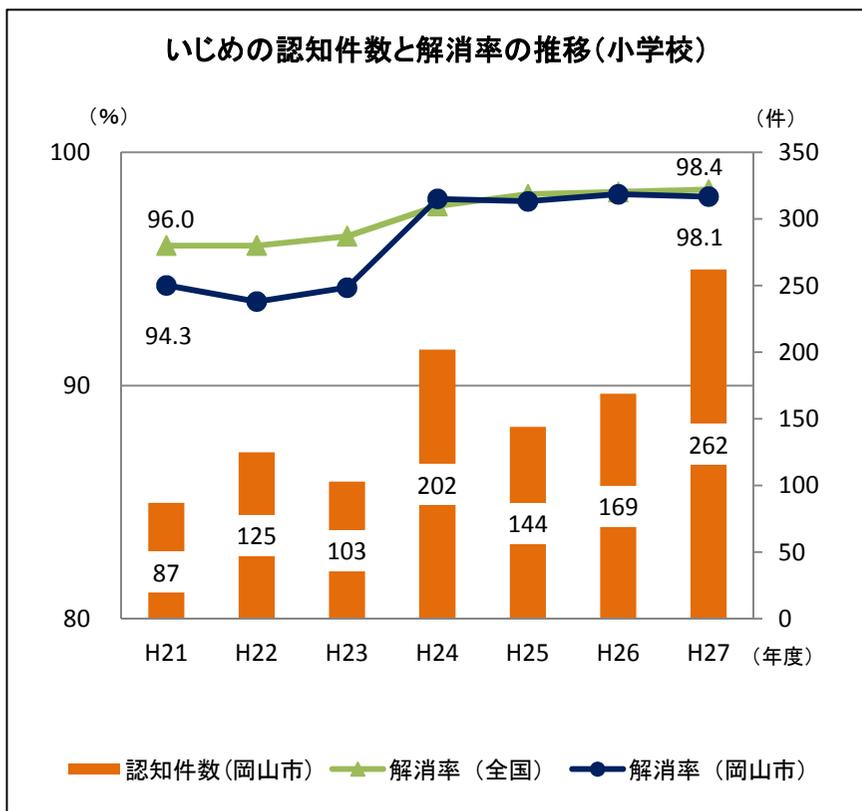
問題行動等の状況

暴力行為の発生件数の推移

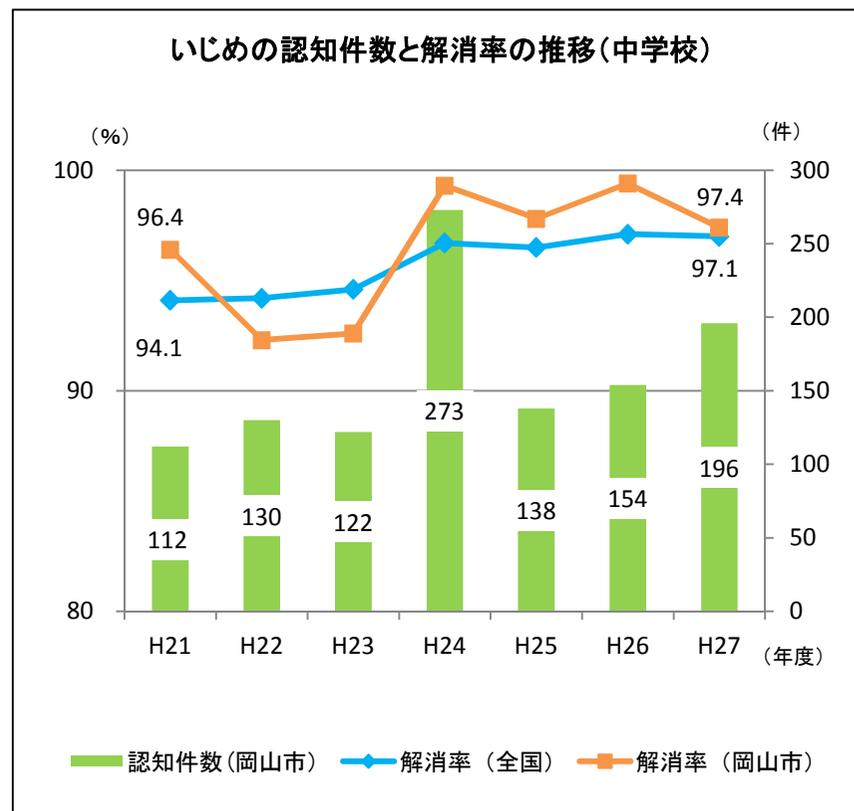


児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)から

いじめの認知件数と解消率の推移

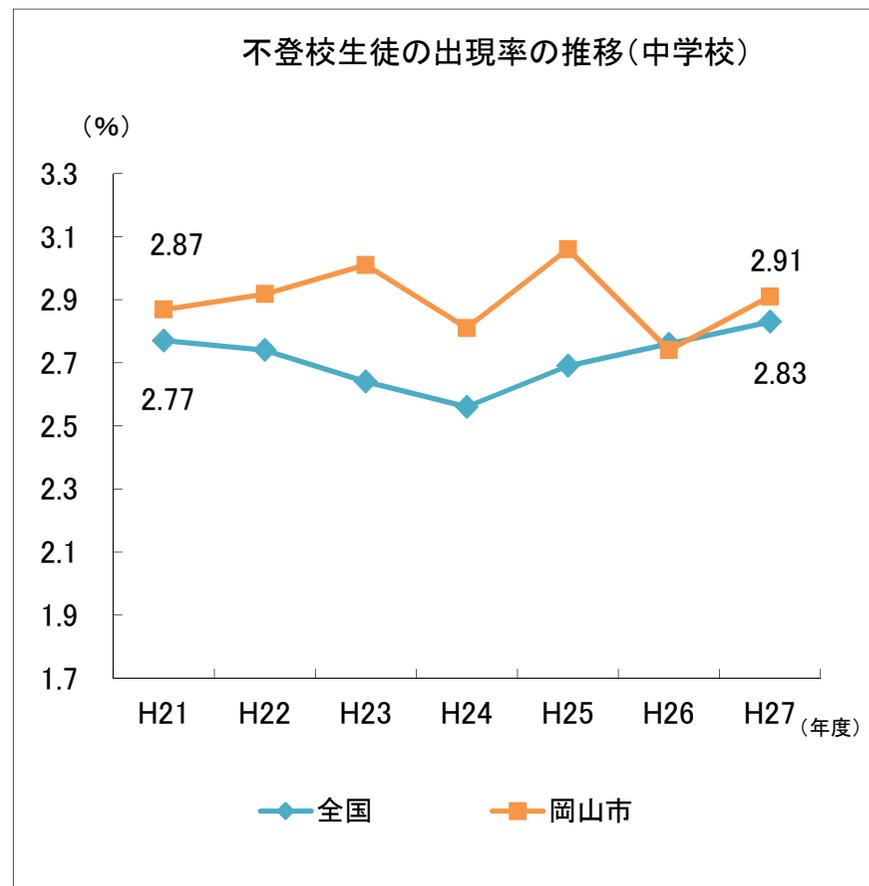
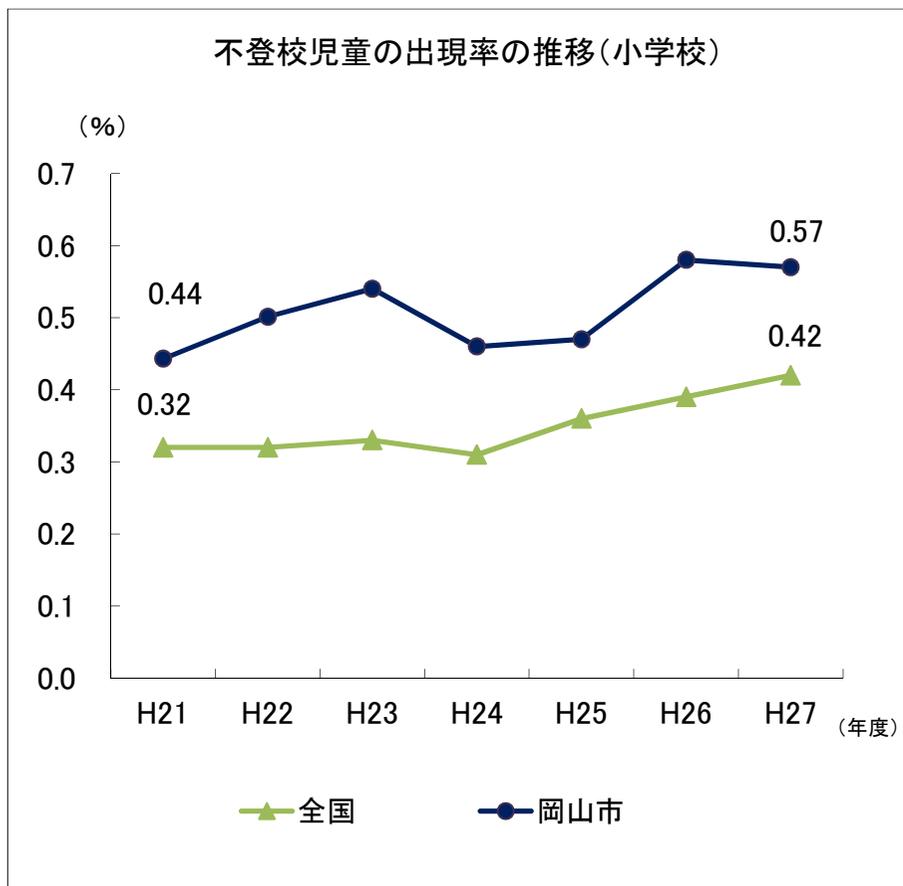


※いじめの解消率は、「解消した」または「一定の解消が図られた」と報告した割合の合計



児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)から

不登校の出現率の推移



児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)から

暴力行為、いじめ、不登校の防止及び解決に向けた取組の現状（岡山市）

参考となる学校の取組例

◆原因や背景の分析、児童生徒の実態把握

- 調査等の結果をもとに、背景や傾向を分析する。
 - ・全国学力・学習状況調査
 - ・質問紙調査(hyper-QU、ASSESS)
 - ・いじめアンケート
 - ・出席状況調査(月3日以上欠席)
- 普段から児童生徒や保護者にしっかり関わる。
 - ・あいさつ運動
 - ・昼休みに一緒に遊ぶ
 - ・教育相談
 - ・廊下等での見守り
 - ・連絡帳や生活ノート
 - ・家庭訪問
- 児童生徒の状況を情報共有する。
 - ・前籍校園との連絡会
 - ・生徒指導委員会
 - ・ケース会議

◆問題行動等への対応に関する校内体制

- 問題行動等が発生した場合、迅速に判断し、対応する。
 - ・報告、連絡、相談の徹底
 - ・判断する手順の明確化
 - ・役割分担
 - ・支援員等の活用
- 学校の方針等を児童生徒、保護者、地域の方に周知する。
 - ・方針例:「暴力やいじめには毅然と対応します」
 - ・PTA、青少年育成協議会、地域協働学校との協働
- アイデアを持って、未然防止に取り組む。
 - ・取組例:「1分前着席」「放課後質問教室」「全校道徳」「学区清掃」

◆専門家の活用、関係機関との連携

- 普段から専門家や関係機関等と情報を共有しておく。
 - ・専門家:スクールカウンセラー、子ども相談主事等
 - ・関係機関:警察、児童相談所、地域こども相談センター等
- 相談機関や医療機関の最新情報を把握し、ケースに応じてつなぐ。
 - ・教育相談室、適応指導教室、フリースクール、クリニック等
- 教育委員会の事業等を活用する。
 - ・学校問題解決サポート事業(弁護士や医師等からの助言)
 - ・いじめ専門相談員派遣事業(いじめ防止等への助言)

課題がある学校の状況等

◆原因や背景の分析、児童生徒の実態把握

- 調査等の結果が分析、活用できていない。
 - 児童生徒や保護者との関わりが不十分となっている。
 - 校内の情報共有が不足している。
- ↓
- ・児童生徒の状況に応じた指導・支援につながっていない。
 - ・同じようなトラブルが繰り返し起きてしまう。
 - ・児童生徒や保護者が不信感を強めてしまう。

◆問題行動等への対応に関する校内体制

- 情報伝達の方法や、対応判断の手順が明確になっていない。
 - 担当者が抱え込んでしまう。学級や学年間で対応に差がある。
 - 保護者や地域の方と学校との協働があまり進んでいない。
- ↓
- ・判断や対応が後手になってしまう。
 - ・時間がかかってしまい、解決に結びつかない。
 - ・学校への不信感から、児童生徒への指導・支援が思うようにできない。

◆専門家の活用、関係機関との連携

- 専門家や関係機関との協働の仕方が周知できていない。
 - 学校だけで判断・対応したり、先送りにしてしまったりする。
 - 強い要望や抗議に対して、言われたとおりに対応してしまう。
- ↓
- ・起きた背景や学校の状況に合わない指導・支援となっている。
 - ・対応が長期化したり、公平さを欠いたりする。
 - ・学校の対応力が高まらず、同じことが繰り返される。

部活動の休養日設定について

◆学校の決まりとしての休養日の設定状況(%)

	全国	岡山市
週1日	54.2	68.4
週2日	14.1	10.5
週3日以上	2.9	0
週1日以上	71.2	78.9

平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)から

教職員の負担軽減(岡山市)

参考11

～ サポート プロジェクト ～

学力向上

問題行動等の減少

『岡山っ子』学力向上推進事業

ストップ・ザ学校問題

【新規】短時間の再任用教員

岡山っ子スタート・サポーター

習熟度別サポーター

学校業務アシスト職員

個別支援

教職員の負担感

印刷等事務処理

教職員勤務負担の状況に関する調査
(H24岡山市教委学事課)から

子どもたちへの教育(知・徳・体)の充実には
教職員の支援充実が必要

調査・報告書等

公簿等の書類作成

部活動指導

部活動サポーター

特別支援教育支援員

学校支援ボランティア

生徒指導

スクールカウンセラー
不登校児童生徒支援員

保護者対応

学校問題相談窓口

会議・打合せ

校務支援システム
ICTヘルプデスク

教育総合調査

総合的ミドルリーダー研修講座（岡山市）

（H29度新規講座）

1 目的

岡山市の教育の現状や方向性について認識を深めるとともに、総合的ミドルリーダーとしての必要な資質を身に付ける。

2 対象

10年経験者研修の受講が修了した教諭のうち、学校長からの推薦があった者
対象年齢 36歳～49歳

3 定員

約10名

4 講座数

年7回

5 主な内容

- ・学校組織マネジメント
学校組織マネジメントの着眼点と組織を動かすリーダーシップについて
- ・カリキュラムマネジメント
次期学習指導要領の柱となるカリキュラムマネジメントについて
- ・リスクマネジメント
学校現場で起こる様々な事例の紹介を通して、事案が発生した場合の対応について
- ・法令・法規の必要性
法令・法規に基づいた職務の重要性について
- ・岡山市の教育をより良いものにするために
各学校の課題から岡山市共通の課題を明らかにし、課題解決に向けての改善の方策を考えるグループ演習など

大綱の実現に向けて注目していきたい指標

指標名	基準値(H28)	目標値(H32)
全国学力・学習状況調査の偏差値 ・A問題・・主として「知識」に関する問題 ・B問題・・主として「活用」に関する問題	小6国語A 49 小6国語B 50 小6算数A 50 小6算数B 50 中3国語A 48 中3国語B 48 中3数学A 49 中3数学B 48	小6国語A 51 小6国語B 51 小6算数A 51 小6算数B 51 中3国語A 50 中3国語B 50 中3数学A 50 中3数学B 50
全国学力・学習状況調査のB問題の無解答率の対全国比 (岡山市の無解答率／全国の無解答率)	小6国語 1.1 小6算数 1.1 中3国語 1.7 中3数学 1.3	小6国語 1.0 小6算数 1.0 中3国語 1.0 中3数学 1.0
「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている。」という問いに肯定的な回答をした学校の割合(%)	小 92.2 中 63.2	小 100 中 100
「校長が校内の授業を週2回以上見て回っている。」と回答した学校の割合(%)	小 89.9 中 65.8	小 100 中 100
児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数(件)	小 3.6 中 18.0 (H27)	小 2.6 中 9.5
いじめの解消率(%)	小 98.1 中 97.4 (H27)	小 100 中 100
不登校の出現率(%)	小 0.57 中 2.91 (H27)	小 0.42 中 2.83
年3回以上、問題行動等の防止・解決等に関する研修会またはケース会議を開催している学校の割合(%)	—	小 100 中 100
部活動の週1日以上休養日を設定している中学校の割合(%)	78.9	100
教職員の定時退校日を設定している学校の割合(%)	—	小 100 中 100